

第二十六回帝國議會 衆議院 漁業法改正法律案委員會中特別調查委員會會議錄(速記)第七回

會議

明治四十三年二月二十五日午前十時四十八分開議

出席委員左ノ如シ

板東 勘五郎君 藻寄 鉄五郎君 三浦 覺一君
鵜澤 總明君 花井 卓藏君 平島 松尾君
東 武君

出席政府委員左ノ如シ

農商務省水產局長 道家 齊君 司法省民利局 平沼騏一郎君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ 長法學博士

農商務書記官 松崎 壽三君

農商務技師 熊本 治平君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

漁業法改正法律案

○委員長(板東勘五郎君) 開會致シマス

○花井卓藏君 漁業法改正法律案委員會會議錄第三回ノ速記ノ正誤ヲ致シテ置キマス、正誤ニハ正誤ノ式ガアルノデアリマスカラ、解釋ノ意味ニシテ述ベテ置キマス、看做權ト言フノ慣行權ト書イデアリマス、是ハ間違デス、ソレカラ人格權ト申シタルノ人權ト書イデアリマス、ソレカラ私法ト申シタル司法トアリマス、私權規定ト申シタルヲ試驗規定トゴザイマス、斯ノ如キ趣旨ニ於テ述ベタルデアリマスガ、速記錄ニハ言葉ハ同ジテ文字ノ異ナリタルモノガアルデアリマス、其他多少ノ意味ノ分ラヌヤウナ點モアリマスガ、前後ノ論旨ヨリ推測シテ見テ貫ヒタイモノデアリマス、一々ハ正誤ハ致シマセヌ、尙一ツ申シマス、民法社會司法社會トアルノハ民法事項司法事項ノ誤リデアリマス

○委員長(板東勘五郎君) 是ヨリ先ヅ十六條ニ就テ政府委員ヨリ一應ノ辯明ガアル答デゴザイマスカラ……

○藻寄鉄五郎君 其辯明ノ前ニチヨット申シタイコトガアリマス、此十六條第二項ニ「申請」ト云フコトガアリマス「申請」ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得」トアリマスガ、漁業權ヲ得ルトキニ於テ所謂申請テ無ク出願スルコト云フコトニナッテ居ル、申請ト云フコト、出願ト云フコト即チ漁業權ヲ出願スルコト云フコト、漁業者ノ申請ニ依リ更新スルコト云フコトハ、所謂申請ト云フコト、出願ト云フコト、ハ大變意味ガ違フヤウニ思ヒマスガ、今御辯明ノトキニ併セテ其御解釋モ承リタイ

○政府委員(道家齊君) 昨日十六條ノ期間ノコトニ就テ御尋ガアリマシタガ、ソレニ對シテ御答ヲ致シマス、是ハ前ノ委員會ニ於キマシテ段々御質問ガゴザイマシタカラ、ソレデ大要ヲ申述ベテ置キマシタガ、昨日ハ極メテ簡單ニ申シテ置イタルデアリマス、併シ此問題ニ就テハいろ／＼御質疑モゴザイマスカラシテ、尙重複スルカモ知レマセヌガ今一應申上ゲテ置キマス、現行法デハ此期間ニ二十箇年ニナッテ居ルデアリマスガ、是ハ改正案ニ於キマシテモ、ヤハリ二十箇年ト云フコトニシテ別ニ改正ヲ加ヘズシテ出シタ理由ハ、此

現行法施行以來今日マデノ經驗ニ依リマスレバ、先ヅ期間ト致シマシテハ二十箇年位ガ適當デアルト云フ考ヲ有ツタデアリマス、ソレカラ一ツハ第二項ニ付テ更新ノ場合ハ新ナル出願デアルカ、或ハ繼續ノモノデアルカト云フ事柄ガ主タル問題ノヤウデゴザイマスガ、是ハ過日來申上ゲタ通り、ヤハリ更新ト云フモノハ先ヅ新ナルモノト解釋ヲ取ッテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデス、ソレ尙前ノ漁業權者ガ引續イテ此權利ヲ得ルト云フヤウナコトニナッテ、サウシテ其前者ニ必ズヤラセナケレバナラヌト云フコトニナルト、實際不都合ナコトガアリハセヌカト思フノデス、假令此二項ガ斯ウナッテ居リマシテモ、事實トシテハ不都合ノナイ限リハ、無論前ノ權利者ニ許スト云フコトハ、是ハ論ヲ俟タイコトデアラウト思フノデス、併ナガラ斯ウ云フヤウニ新規ノ出願ノ如クニ解釋ヲ執ッテ居ルト云フコトニ付テハ、昨日モ申上ゲタヤウニ地方ニ依ッテハ藩制時代、若クハ御維新後ニナッテ總代ト云フヤウナ制度ヲ設ケテ居ルトコロガアリマシテ、其總代制度ト云フモノハ廢メラレテ居リマス、ケレドモ此處分トシテ總代ト云フ名儀ヲ取ッテシマッテ、名前ハ個人トナッテ出願ヲシテ居ルノガアル、是等ノ時代ニ於テハ漁村部落全體ノ共有ニスベキモノデ、全體ニサウナッテ居ルノデ、唯名儀上個人トナッテ居ルト云フ事實問題ガアル、是ハ昨日モ申上ゲタ通り、長崎縣下デハ其實例ガ随分多イ、ソレカラノ點ハ多少救済スル必要ガアルデアラウト思フノデス、ソレカラ又期限ノ何年間ト限ルト云フヤウナコトニナルト、實際ノ問題トシテ例ハ此沿岸ノ處ニ於テハ築港スルトカ、或ハ鐵道ヲ敷設スルトカ云フヤウナコトガアルト、其海岸埋立デモシナケレバナラヌト云フコトガアル、サウ云フヤウナコトガ眼前ニ分ッテ居ルコトモアルノデ、ソレガ或ハ一定ノ期限ヲ以テ許可シナケレバナラヌトカ、或ハ長期ノモノニナルトソレラニ餘程支障ガアリマスカラシテ、自然行政官廳ニ於テ許可シナイト云フヤウナコトガアリハセヌカト云フコトガアル、又漁業者ノ方カラ申セバ、漁業ノ種類ニ依ッテハ格別資本ヲ要セナイカラ、一年デモ二年デモソレヲ利用シテ漁業シタイト云フコトガアル、サウ云フコトガアリマスカラドウモ短期ノ場合モアルデアラウシ、必ズ長期デ何年ト限ルト云フコトニナルト、自然トサウ云フヤウナ場合ニハ許可シナイト云フ虞ガアルト思フノデス、ソレハ漁業者ニ取ッテ甚ダ不利益デアル、又海面ヲ利用スル上カラ云ッテモ、餘リ面白クナイコトデナイカト思フノデス、又此漁業ノ種類ニ依ッテハ、例ハ甲ノ處ニ定置漁業ヲ許シテ乙ノ處カラ出願ヲシテ參リマシタ場合ニ、魚道ノ關係カラシテ乙ノ方ニ許スト云フト、甲ノ處ハ魚道ヲ遮斷スルヤウナコトガアリハシナイカト云フ虞ガアル、ケレドモソレハ大概斯ウ云フ魚ハドウ云フ道ヲ通ッテ居ルダラウト云フヤウナ推測ハ付ケラレルコトガアリマスカレドモ、果シテソレガ魚道ヲ遮斷スルノデアルカナイカト云フコトハ、事實問題トシテヤラシテ見ナイト分ラヌコトガアル、サウ云フ場合ニハ漁民ノ方カラ云フト一年デモ宜イカラ試驗的ニヤラシテ貫ヒタイ言ッテ、特ニ漁業者ノ方カラ年限ヲ極ク短クシテ出願スル者ガ實例トシテ往々ゴザイマス、ツマリ言フト試驗的ニヤッテ見タイト云フノガ、從來カラアリマス漁區ト、ソレカラ、新規ニ設ケヤウト云フコトコロノ漁區トノツマリ隣接シタ場合ニ於テ新ニ出願ノモノハ前ニ許可シテ居ル漁業權ノ妨害ニナ

ルヤ否ヤト云フヤウナ場合ニ、疑ハシイモノガアル、サウ云フヤウナトキ二年限モハッキリ極メテゴザイマセト云フ場合ニハ自由ニ極メルコトモ出來ルシ、其極メ方が出願者ノ方ノ希望ヲ以テ、サウ極メルコトモ出來得ル自由ガ餘程著クアラウト思フ、ソレデ年限ヲ長クスルトカ或ハハッキリ極メルト云フコトハ、一面ニ權利ヲ確實ニスルト云フ方カラ申セバ利益ガアルヤウデスケレドモ、實地ノ場合ニ臨シテ且全國ニ互ニテ居リマスカラシテ、餘程其地方デノ漁業ノ種類モ異ルシ、又漁場ノ模様モ種々様々ニナッテ居ルノデ、多クハソレガ習慣上カラ成立ッテ居ルヤウナ場合ガ多イデアリマスカラ、ドウモ實際問題トシテ、ハッキリ一律ニ之ヲ極メルト云フコトハ、果シテ其漁業者ノ利益デアルヤ否ヤト云フコトハ疑ハシイト思フノデス、ソレデモイロ／＼御質問ヲ受ケタコトニ付テ考ヘテ見ルト、地方廳ナドノ處分シテ居ルノデハ、期間ガ餘程短カシ、二年三年若クハ五年位ノモノガアルト云フ御話デゴザイマセガ、是等ノ關係ハ從來ノヤリ來リデ、短カケレバ大丈夫デアラウト云フヤウナコトカラ許可シテ居ル場合モアラウト思ヒマス、實際ニ差支ノナイ限ハ成ルベク長ク許スガ宜イ、殊ニ抵當權ノ設定ガ出來ルコトニナレバ、支障ノナイ限ハ長イ期限デ許スガ宜イト云フコトニ、事實ノ問題トシテスルコトハ出來ヤウト思ヒマス、ソレデ此實際問題トシテ必シモ期限ガ長イガ宜イ、若クハソコヨハハッキリ極メタガ宜シイト云フコトハ、一方カラ考ヘテ見レバ御尤デアリマセガ、實地ニ付テ考ヘテ見レバ差支ガアリマスカラ、此點ヲ一應御參考ノタメニ申述ベテ置キマス

○藻寄鉄五郎君 今ノ御辯明ニ付テチヨット御尋シタイ、今之ヲ短ク極メテ置カネバナラヌト云フ必要ヲ述ベラレマシタガ、其中ニ第一ニ長崎縣アタリニハ舊町村制度ノ時代ニ總代ト云フモノガアル、其總代ノ名義ニナッテ居タ、然ルニ其總代制度ガ廢サレテ市町村制ガ實施サレテ以來ハ、殆ド總代ノ名義デアッタモノガ、個人ノ漁業權ノ如キ考ヲ持ッテ居ルカラ、ソレデ大勢ノ者ノ名前ガ共同物ノ個人ノモノニナッタト云フヤウナ例モアルカラシテ、更新スル必要ガアルト云フノガ第一デアリマシタガ、是ハ若シサウ云フ問題ガ起レバ、無論裁判所ニ出テ幾ラデモ解決ガ出來ルカト思フ、ト云フモノハ總代制度ノ時分ハ御承知デアリマセウガ、此漁業家ニハ大中帳ト云フ帳簿ガゴザイマシテ、何處ノ村デモ其漁業ニ付テハ悉ク勝手ニ扱ッテ居ラナイ、皆ソレ／＼聯合シテヤッテ居ル所デモ、ソレニ船元總代ガアリマシテ、ソレガ魚類ヲ一纏メニ販賣シテ、其大中帳ト云フモノニ一切ノコトヲ書イテ置クノデアアル、丁度舊式ノ帳簿カラ言ヘバ當座帳ノヤウナモノガアル、ソレニ記載シテ利益販賣ノ時分ニハソレヲ分ケテ居ルト云フ風デアアル、サウ云フ次第デアアルカラ舊來ノ大中帳ヲ利用シテ共同事業ヤッテ居ルモノガ、縱令總代ガ其漁權ヲ取ラウト云ッテモ、其人ガ漁權ヲ占領スルト云フコトハナカラウト思フ、ソレカラ後ハドウナルカ分ラヌ、或ハ國防上ノ必要ガアリ、或ハ其他ノ必要ガアルト云フ場合ニハ、期限ヲ長クシタト云フコトハイカナイト云フ話デアルケレドモ、ソレハ二十四條ニ「水產動植物ノ蕃殖保護船舶ノ航行碇泊緊留若クハ國防其他ノ軍事上必要ナルトキ又ハ公益上害アルトキハ主務大臣ハ免許シタル漁業ヲ制限停止シ又ハ免許ヲ取消スコトヲ得」ト云フコトガアリマスカラ、若シ行政廳ガ是カラ後何カ共同ヲ許可シテ見タイケレドモ、果シテ其共同ハ他ノ害ニナルカナラヌカト云フコトガ分ラヌカラ、試験的ニヤッテ見ヤウト云フヤウナコトニ付テハ何モ規定ヲセナクテモ、ヤハリ二十一條ノ「行政官廳ニ於テ必要アリ

ト認ムルトキハ漁業ノ免許ヲ與フルニ當リ、之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得」トアリマスカラ、サウ云フ一般ニ妨ノアル場合ニハ、ソレ／＼特別ニ之ヲ處分スル規定モ他ノ箇所ニアルヤウナ次第デスカラ、私ノ考デハヤハリ之ニ相當ノ長期限ヲ附シテ、或ハ二十年トカ十五年トカ云フヤウニ附シテ置イテモ差支ハナイト思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(道家齊君) 御答致シマス、成程總代制度ト云フモノヲ始メマシテ、若其書類等ニ於テ總代ト云フ名義ガ取レマシテ、個人ノ名義デ出願シテ居ル場合ガアルデモ、ソレハ證據書類ナドヲ備ヘテ民事ニ訴ヘレバ分ルデヤナイカト云フ仰セハ一應御尤デアリマセガ、併ナガラ漁業者ノ方ヲ見マスト資金ノ調達ニ困難スルヤウナモノガ幾ラモ見ユルノデスカラ、民事ニ訴ヘルト云フヤウナコトハ隨分費用モ掛ルノデ、漁民ト致シマシテハ隨分迷惑ナコトデヤナイカト思フノデス、ソレモ證據ノ十分ニアル者モゴザイマセウ、又漁民デゴザイマスカラ往々書類ノナイコトガアル、ソレガ判斷如何ニ依テマルデ個人ノモノニナルト云フヤウナ判決デモ若シ下サレタナラバ、ソレコソ漁民全體ノ部落ト申ス方ニ於テハ、餘程ノ消長ヲ來スコトデアラウト思フノデス、救済方法ト致シマシテハ今ノ御説ノヤウニゴザイマセケレドモ、實際ヲ考ヘテ見マスト、漁民ト致シマシテハ隨分迷惑ノコトデ、其事柄ガ果シテ漁民ノ部落ノ主張ガ通ルカ否ヤト云フコトハ、是ハ判決ヲ俟タナケレバ分ラヌコトデ、餘程氣遣ハシイコト、思フノデス、ソレカラ行政官廳ガ試験的ニ許可スル時分ニハ二十一條ガアルカラ宜イデヤナイカト云フ仰セデアリマセケレドモ、成程是モ一應御尤ニ考ヘマセガ、併ナガラ是デサウ云フ期限デモ制限デモ何デモ附ケルト云フト、十六條ノ事柄ヲヤルト云フコトニナル、其趣意ガ是デ沒却スルト云フコトニナル(「條件デスカラ」ト呼ブ者アリ)ソレガ條件ト云フコトデ始終致シマスト、濫用ト云フテハ語弊ガゴザイマセケレドモ、ソレヲ多ク用井ルト云フコトニナルト、御氣遣ノ點ノ大要ガ削ラレヤウナ眞レガアルマイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ二十四條ニハ成程「水產動植物ノ蕃殖保護、船舶ノ航行碇泊緊留若クハ國防其他ノ軍事上必要ナルトキ又ハ公益上害アルトキハ」トアリマスカラ、大概重要ナル場合ハ是デ網羅シテ居リマスカラ、盡キテ居リマスガ、併ナガラ實際ノ問題ト致シマシテ築港ヲヤル鐵道ヲヤルト云フコトハ豫メ知リ得ラル、場合ガアルノデス、是ハ一旦許可致シマシテ、ソレデ之ニ當ッテ居ル時ハ宜シウゴザイマセガ、ソレカラ後ニ起ルコトハ無論致方ハナイ、又豫メ著手シヤウトシテモ或事情ノタメニ延ビテ居ルト云フヤウナ事情ガアルト思フ、サウ云フ場合ハ當該行政官廳ト致シマシテハ許サズニ置ク方ガ安全ト云フコトハ、或ハ申上ゲルノハ少シ言過ギカモ知レマセケレドモ、實際アルダラウト思ヒマス、ソレカラ此二項ノトコロニ申請トアリマスガ、此二項ガ果シテ新タナルモノト見ラナラバ、ヤハリ出願ト書クガ宜イデヤナイカト云フ御質問アラウト思ヒマス、ソレハ御尤デゴザイマセガ、前項ノ期間ハ漁業權者ノ申請ニ依ルトアリマシテ、漁業權者ト云フモノハ兎ニ角此場合ハアルノデ、出願ハ何時スルカト云ヘバ期間満了前、今日ノ制度デ言フト三箇月前ニ申請スルト云フコトニナッテ居リマス、其場合ニ出願セヨト書イテモ宜シイケレドモ、其出願ノ當時ニ於テハ兎ニ角漁業權ト云フモノガアル、權利ト云フモノハ設定セラレテアル、ソレニ向ッテ出願ノ手續ヲセヨト云フコトハドウデアラウカト思フ、夫故ニ此申請ト云フコトヲ前ニ書イタノデアリマス

○三浦覺一君 此十六條ガ非常ニ問題ニナッテ居ルノデスガ、斯ウ云フヤウニ書イテハ

如何デスカ、今御話ノヤウニ年限ハ五年或ハ三年トアルヤデスカ、實際ノ扱ヒニハサウ云フコトガナイト考ヘルノデアリマス、今問題トナッテ居ルモノハ、從來ノ慣行ニ依テ漁業ヲ特別ナ何カ取扱ニシテ貫ヒタイト云フ希望ニ止マラスト思フ、イロ／＼ノ議論モアリ質問ガアツケレドモ、要スルニソレニ年限ヲ附シテ居ルカラ惡イト云フ議論ニナッテ居ルカラ、此處ニ慣行トシテハ無クナツタセウガ、其御歴々ノ漁業ハツマリ申請スレバ存續スル、必ズ其人ニ來ルト云フ意味ヲ表ハシタラ満足スルノダラウト思フ、此處ニ「前項ノ期間ハ漁業權者ノ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得」トアルカラ行政處分ニ依ッテ先祖代代ヤッテ居ル漁業ヲ取上ゲラレ、或ハ制限ヲ加ヘラレ——行政官ノ權能ニ依ッテ勝手ニヤラレルト云フコトハ之ニ止ッテ居ルト思フ、ダカラ此處ニ從來ノ慣行ニ依ッテヤッテ居ル漁業權者ニ對シテハ、特別ノ扱フシ、必ズ存續セシムルモノナリト云フコトノ意味ヲ表ハシタラ澤山ナ議論ハ消エテシマフト思フカラ、之ヲ變ヘテ貫ヒタイト思フ、是迄イロ／＼御歴々ノ漁業ヲ有シタルモノハ必ズ許可スルモノナリト云フコトヲ表シタナラバ、全般ニ互ッテ此問題ハ解決セラル、ト思フ

○政府委員(道家齊君) ソレハ分リマシタガ、慣行ト云フコトハ隨分ヤカマシイ議論デアリマスカラ能ク承ハリマシタ、成程サウ云フ御心配ハゴザイマスガ、併ナガラ是ハ毎ミ申上ゲル通り行政官廳ヲ信任セラレナケレバ別デアリマスガ、少ナクモ今ノ慣行デ以テ最モ尊重シナケレバナラヌ議論ノ多イ點ハ何デアルカト云フト、中央デ處分シテ居ル專用漁業デス、是ハ昨日モ申上ゲタ通りニ期間ハ二十箇年ト、免三角出來得ル範圍ニ於テ長クシテアル、又ソレヲ點ニ付テ假令其二十箇年ノ期限ガ滿了ノ際ニ於テ故障モ何モ仔細ノナイモノヲ更新シナイト云フコトハ、ソレハ決シテナカラウト思ヒマス、ソレデ昨日來承ハルトコロニ依ッテ見ルト、慣行ダトカ或ハ期間ノ短カイトカ、或ハ期間滿了ノ際ニ紛擾ガ起ルトカ云フコトハ地方廳ノ處分ノモノニ多イト云フコトニナル、成程地方廳ニ任セテアルモノハ如何ナル種類デアルカト云フト、定置漁業、區劃漁業、特別漁業トナッテ居リマスガ、是ハ一體今日マデ處分シテ居ル中ニ、定置漁業、區劃漁業デハ是ハ慣行ニ依ッタモノデアル、是ハ慣行デアイト云フ區別ハシテ居リマセヌ、若シ慣行ニ依ルモノデアルカドウカラ區別シロトオシヤッタナラバ、中央ノ分ハ出來マスケレドモ地方ニ散亂シテ居ル四五万ノ件數ノ中デ、是ハ慣行ニ依ッタモノ、是ハ慣行ニ依ラヌモノト云フコトヲ更ニ調ベテ、又ヤラナクチャナラヌ——此四五万件ト云フモノハ再調査シナケレバナラヌト云フ困難ガアル

○三浦覺一君 實際ハ分ッテ居ラヌノモアリマセウガ、私共局ニ當ッタトキニハ分リマス、デスカサウ固クナラヌデモ差支ナイ限リハ御許シナルノデアルカラ書イテモ宜イデヤナイカ

○板東勘五郎君 速記ガ要リマスカ——速記ヲチヨットヤメテ懇談會ニシタガ宜イデセウ

(速記中止)

○花井卓藏君 十六條ノ第二項ニ「前項ノ期間ハ漁業權者ノ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得」ト書イテアリマスカラ、更新ノ申請アリタル場合ニ於テハ漁業權ヲ保ツ期間中ニ、何等カノ處分ヲスベキモノト信シマスガ如何デアリマスカ

○政府委員(道家齊君) 唯今花井君カラノ御質疑ニ對シテ御答致シマスガ、此第二項ノ申請ガアリマシタ場合ニ期限滿了前ニ之ヲ處分シナケレバナラナイ、又處分スベキモノデアリヤシナイカト云フ御尋ニ對シマシテハ、處分ハ必ズ期限滿了前ニシナケレバナラヌト云フコトハナカラウト思フ、併シ處分ハ其後ニナリマシテモ、其處分ハ元ノ權者ニ許スナラバ、其効力ハヤハリ期限滿了前ニ遡ッテ其處ニ間斷ハナイコトニナルト思ヒマス、ツマリ處分ハ期限滿了前ニ必ズシナケレバナラナイト云フコトハ、此二項ノ規定ニ依ッテ見エナイガ、併シ處分ヲ致シマシタ場合ニハ、其効力ハ遡ッテサウシテ其間ニ於テ期限滿了後ニ、例ヘバ處分ヲ致サズニ居ッテ、一箇月ナリ二箇月ナリ經過致シマシテモ其効力ハヤハリ前ニ遡ッテ續イテ行クモノト考ヘマス

○花井卓藏君 チヨット伺ヒマスガ、ソレハ原則トシテノ御答デアリマスガ、斯カル場合モアルデアラウト云フ趣旨ニ於テノ御答デアリマスカラ先ヅ第一ニ伺ヒマス、ソレカラ現行法デハ二箇月前ニ申請スルコト云フコトニナッテ居リマスガ、漁業權者デアル以上ハ更新ノ申請ニ付テ特ニ制限ヲ立テル必要ハアルマイト思ヒマス、今日漁業權ヲ出願シテ明日漁業權ヲ免許サレテ、其明日ニ更新ノ手續ヲシテ置イテモ法ノ手續ニ於テ差支ハナイノデアルカラシテ、少シモ漁業權者タル資格ヲ保ツ間ニ處分スルニ於テハ、私ハ妨ゲナイト思ヒマスガ、サウデハナイノデスカ

○政府委員(道家齊君) 施行規則ニ書イテゴザイマス通り、更新ノ場合ニ於テハ三箇月内ニ申請シロト云フコトガ書イテアリマスカラシテ、大體ニ於テ此期限滿了前ニ處分スルコト云フ趣旨デアアルノデスカレドモ、事實ノ問題トシマシテドウシテモ其期限ニ遲レデ處分スルコトハアルノデスカ、ダカラ必シモ期限滿了前ニヤッテシマハナケレバナラヌ、ヤラナカッタラ違法ダト云フコトハ申上ゲカネマス、事實トシテ出來ナイコトガアルノデスカレドモ、原則ト謂ヒマスカ三箇月前ニ出願シロト云フコト、即チ滿了前ニヤッテシマヒタイト云フコトヲ表明シテ居ル積リデアリマス

○花井卓藏君 此點ハ不明デアリマスガ、先ヅ姑ク攻究スルコトシテ次ヘ進ンデハドウデス……十七條デ質問スルノデスカ、或ハ是モ分リ切ッタコトデアルカ知リマセヌガ、感ヒヲ起スカラ尋ネルノデスカ「漁業權ハ目的タル漁業權ノ存續中存續スルモノト見做ス」ト書イテアリマスガ、是ハ更新以後モ包含スルノデスカ、法文ノ意味トシテ感ヲ生ズルノデスカ

○政府委員(道家齊君) 其積リデゴザイマス

○花井卓藏君 サウ定ッテ居リマスレバソレデ宜シイ、ソレカラ「入漁權者ハ何時デモ其權利ヲ拋棄スルコトヲ得」ト書イテアル、權利ノ拋棄ハ全部ノ拋棄ノ意味デセウカ、或ハ部分ノ權利ノ拋棄モ含マレテ居ルノデセウカ、或ハ今年ハ權利ヲ拋棄スルガ來年ハ拋棄シナイト云フコトモ含マレテ居ルノデセウカ、此點ハ司法省ノ政府委員ニ御答ヲ煩シテモ宜イノデスカ

○政府委員(道家齊君) 御答致シマスガ、是ハ權利ノ拋棄ハ全部ノ拋棄ト考ヘテ居ルノデスカ、サウ勝手ニ分割シテ一部分ハ留保シ、一部分ハ拋棄スルコト云フコトハサセナイ、又サウ云フ趣意デゴザイマセヌ

○花井卓藏君 本年權利ヲ拋棄シテ、來年權利ヲ實行スルコト云フコトハ妨ゲナイノデアラウカ

○政府委員(道家齊君) サウ云フコトハドウモ無カラウト思フ

○花井卓藏君 今年權利ヲ拋棄シテ來年拋棄シナイコトハ幾ラモアル

○政府委員(道家齊君) 入漁權ト云フモノハ御承知ノ通り契約モアリマスカラ、契約ニ依ッテサウ云フコトヲ致シタラ是ハ無論ノコトデアリマス

○花井卓藏君 契約ノコトハ關係ナイ、權利ノ拋棄ヲ云フノデアル

○政府委員(道家齊君) 今日ハ拋棄シテ又明日ハ之ヲ戻スト云フコトハナイ趣意デスカ

○花井卓藏君 一旦權利ヲ拋棄シタラ永久ニ拋棄シタト見做ス、斯ウ云フ趣意デスカ

○政府委員(道家齊君) サウデス

○花井卓藏君 意味ガ分レバソレデ宜シ

○鵜澤總明君 今ノ權利ノ拋棄ハ是ハ設定行為ノ場合ノコトヲ云フノハ無論構ハナイノデセウガ、例ヘバ入漁權ノ方カラ料ヲ取りタイ人モアルデセウ、入漁料ト云フモノヲ取ルダケニヤッテ居ルノモアルカ知レナイ、其場合ニハサウ云フ契約ガアッテモ拋棄スル方ハ勝手ニ拋棄シテシマッテモ構ハナイト云フコトニナッテ居リマス

○政府委員(道家齊君) ソレハサウデス

○委員長(板東勘五郎君) 十八條ハドウデスカ

○花井卓藏君 此十八條テ漁業權者ハ其入漁ヲ拒ムコトヲ得トアル、此拒絕ニ付テ爭ガアツトキニハ、無論民事裁判所ガ判斷スルモノデアラウト思ハレルノデスカドウデスカ

○政府委員(道家齊君) 其通りデゴザイマス

○鵜澤總明君 一項モサウデスカ

○政府委員(道家齊君) サウデス

○花井卓藏君 此二項ニ於テハ「漁業權者ハ入漁權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得」此消滅請求ノ方法ハ行政上ノ手續ニ依ルノデセウカ、或ハ裁判上ノ手續ニ依ルノデセウカ

○政府委員(道家齊君) 裁判ノ手續ヲ經ルコトデアリマス

○花井卓藏君 既ニ裁判手續ヲ經ルモノト致シマスレバ、ヤハリ第一項ト同ジヤウニ民事裁判所ノ管轄ニ屬スルモノト云フ、斯ウ云フ御解釋デアラウト思ヒマスガドウデスカ

○東武君 入漁權者ガ二年以來引續キ怠ルト云フコトガ書イテアリマスガ、サウ云フノデスカ、引續キト云フノハ特ニ何カ法文ニ意味ガアルノデスカ、引續キ二年ナラ二年ズツトヤッテ行カナイデ、二年共入漁料ヲ怠ツタ時分ヲ特ニ云フノデスカ、一年分納メナイデ途切レタ時分ニハドウデスカ

○政府委員(道家齊君) 二年引續キ怠ツタ場合デス

○鵜澤總明君 入漁權消滅請求デスカ、民法デヤハリ疑ガアッテ判例ガ時ニ變ラタヤウデアリマスガ相手ニ對シテ請求スルコトガ出來ル趣旨ニナッテ居リマセウカ、或ハ裁判所ニ對シテ消滅ヲ請求スルト云フ趣旨ニナッテ居リマス

○政府委員(法學博士平沼騏一郎君) ソレハヤハリ通常ノ訴訟デ入漁權者ヲ對手ニシナケレバナラナイ

○花井卓藏君 チョットモウ一ツ伺ヒマスガ、權利ノ拋棄ニ關スル形式若クハ手續ト云

フモノハ要セヌノデスカ

○政府委員(法學博士平沼騏一郎君) 拋棄ノ形式ハ別ニ法律デ限定ハシテ居リマセヌノデスカ、意思ノ表示ガアレバ宜カラウト思フノデス

○花井卓藏君 意志ノ表示ノアツタトコロガ、マルデ事實ノ上デ拋棄シテ居レバソレデ拋棄ノ推定ヲスルト云フノデスカ

○政府委員(法學博士平沼騏一郎君) 是ハ一般ノ民法上ノ規定ニナルノデアリマスガ、意思ノ推定ノ出來ル場合モアリマセウシ、或ハ明カニ表示スル場合モアリマセウガ、兎ニ角拋棄ノ意思ノ表示ト云フモノハナケレバナラヌ

○花井卓藏君 拋棄ノ意思ノ表示デケハナケレバ意思ガアルマイト思フケレドモ、形ト云フモノヲ施行法カラ見テ定メシケレバ、何カ爭ガ起リハシマイカ、權利ヲ拋棄シタノダカラ拋棄者ノ方デ何トモ感ゼヌト云フ關係ガアルカ知レヌガ、或ハ入漁料ヲ拂フノガ厭ヤデアルトカ、其他本來ノ權利ヲ妨グルト云フ趣旨デ、殊更ニ其權利ヲ拋棄スル者モナイデハナイノデアリマスカラ、何カ形ノ上デ極リノ著クヤウナモノガ入用デハアルマイカト思ヒマス

○政府委員(法學博士平沼騏一郎君) ソレハ一般ニ民法ノ規定ト同ジコトデアリマセウガ、別ニ其形式ヲ定メマセヌデモ、其意思ノ表示ノアツタト云フ證明サヘアリマスレバ別段差支ナカラウト思ヒマス、是ハ特ニ漁業法ノミニ就キマシテ其形式ノアル譯デハナカラウト思ヒマスルガ、一般ノ意思表示ノ通則カラ參リマシテ判斷致シマシタラ、ソレデ差支ナカラウト思ヒマス

○委員長(板東勘五郎君) 十九條ハドウデスカ……ソレデハチヨット——是ハ創デシマッテハイケマセヌデスカ、是ハ設定行為トカ、慣行ト云フモノニ委シテシマッテ、斯ウ云フモノハ本文デ制裁シナイト云フコトニナルト、實際ニ妨グルコトガ出來ヤシナイカト云フ場合モ、此間ノ委員會デ承ツタ場合モアリマスガ……

○政府委員(道家齊君) 是ハ斯ウ云フ考デアリマス、入漁料ハ貸借ミタイナ風デ、一旦借リマスト使ハナクテモ拂ハナケレバナラヌト云フモノニナルト、實際上ト合ハナイノデス、入漁料ハ入漁シナイトキニハ拂ハナイデ、入漁スル時ニ拂フノガ今日ノ實況デア、此間質問ガゴザイマシタ、アレハ私モ御尤ダト思フガ、此處ニ書カナカッタノハ法律ノ規定ガナイデモ、契約シテ居レバ差支ナイノデアリマスガ、茲ニ慣行ニ從フト云フコトダケデハ足リナイト云フノデ、契約ト云フコトモ書イテ宜イカモ知レマセヌガ、趣旨ハ契約デスル分ハ差支ナイト、斯ウ云フノデアリマス

○委員長(板東勘五郎君) 十九條ハ宜シウゴザイマス

(「宜シウゴザイマセウ」ト呼フ者アリ)

○委員長(板東勘五郎君) ソレデハ二十條……

○花井卓藏君 二十條ノ總テニ就テノ質問ニアラズシテ、ヤハリ救済ニ付テノ質問デス「慣行アルトキハ其ノ慣行ニ從フ」其慣行ニ從ヒマシタトコロノ爭モヤハリ前條ト同ジク民事裁判所ノ管轄ニ屬スベキモノデアリマセウカ

○政府委員(道家齊君) 入漁權ニ關シマシテハ大體ノ普通裁判所デアリマスカラ、此慣行ニ從フト云フコトニ付テモ民事ノ裁判所デアラウトニナルノデアリマス

○花井卓藏君 ツコデ總メテ同ヒマスガ、十七條、十八條、十九條、二十條ヲ通シテノ質問ニナルノデス、又十三條、十四條、十五條ノ幾分、ツレカラ十七條ニ通シテノ質問ニナルノデアリマス、結局入漁權ト云フモノヲ物權ト看做シタ上ニ、尙且ツ入漁權ニ關スル爭關係ト云フモノハ悉ク民法ノ支配ニ屬セシムルモノナルト云フコトダケハ、確定シテ動カヌモノト見テ宜シウゴザイマス

○政府委員(道家齊君) ツレハ宜シウゴザイマス

○委員長(板東勘五郎君) 二十條ニ行キマセウカ

○東武君 是ハ委員總會ニモアリマシタガ、之ニ「制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得」ト云フコトハ、多クハ實質上ニ於テドウ云フ場合ヲ言ウタノデセウカ

○政府委員(道家齊君) 御答致シマス、大體此漁業ノ免許ヲ許シマス場合ニ、甲ノ漁業權ガ設定サレテ居ルノツレカラ乙ガ願出デルト云フト、此乙ノ分ニ許ス場合ニ乙ノ漁業ノ種類ガ甲ノ分ト全然抵觸スル場合ハイケマセヌケレドモ、乙ノ分ニ多少ノ制限ヲ加ヘレバ甲ノ漁業權ニ對シテ別ニ支障ハナイト云フ場合ガ幾ラモアル、若シ斯ウ云フ條件又ハ制限ヲ付ケルコトガ出來ナイトスレバ、乙ノ願ト云フモノハ許スコトガ出來ナイコトニナル、漁業ハイロ／＼ニ分レテ居リマスルシ、場合ガイロ／＼ゴザイマスシ、又種類モイロ／＼ゴザイマスカラツレ等ノ間ニ調和ノ取レル範圍ニ於テ、成タケ許スト云フ考カラ之ヲ設ケタノデ、若シモ是ガナイト云フト許スカ許サヌカ可否孰レカトニナツデシマツテ、一向屈伸ガ付カナイ結果、許サナイ場合ガ多クハナイカト思ヒマス

○東武君 サウスルト同ヒマスガ、二十四條ニアル水產動物ノ蕃殖保護云々、國防上軍事上必要云々、又ハ公益上云々ト云フ場合ニ、主務大臣ガ停止スルト云フト、此處ノ制限シ又ハ條件ヲ附スルト云フノハ全ク別ナモノニナルノデスカ

○政府委員(道家齊君) 是ハ全ク違フデアリマス、是ハ大キク括ツタモノデアリマス、ツレカラ唯今御尋ノ二十一條ハ、漁業ト漁業トノ間ノ種類ナドノ衝突致シマスルヤウナ場合ニ、個々別々ノ場合ヲ見テ居ル、夫故ニ制限トカ條件トカハ例ヘバ此處テ漁業ヲ致シマスル甲ノ漁業ガアル處ニ、乙ノ漁業ガ出願シタ、其時分ニ許スノニ出願ノ通りテ宜シケレドモ、其上ニ或ハ斯ウ云フ信號ヲシロトカ、斯ウ云フ標目ヲ立テトカ云フ條件ヲ附スルコトモアルノデス

○東武君 モウ一ツ制限トカ條件トカ云フコトハ、甚ダ漠然デアッテ、漁業權ト云フモノニ向テ大ナル所謂物權ノ形式カラ行ケバ、命令ニ依テ權利ヲ多少弱メルコトニナルノデアリマス、是等ノ制限條件ト云フモノハ施行規則カ何カ定メル場合ニ豫メ範圍ナドヲ極メルモノデアリマス

○政府委員(道家齊君) 唯今申上ケマシタ漁業ト漁業トハカリテナクシテ、或ハ航路ナドガゴザイマス、此航路ガアル時分ニ斯ウ云フ場所ニハ斯ウ云フ方法ヲ取テ行クナラバ、此處テ許シテモ宜シ、漁業ト漁業トハカリテナクシテ他ニ於テモ多少ノ制限ヲ附スルコトハアリマス

○東武君 サウスルト二十四條ト抵觸シテ居ルデスカ……

○政府委員(道家齊君) 二十四條ハ大體ニ大キク法律テ免許シタヤツヲ取消ス場合、二十一條ハ免許ヲ與ヘル場合デ……

○鵜澤總明君 制限又ハ條件ト云フコトニ付キマシテ、具體的ニ施行法カ何カデ稍、大體ヲ極メテ置クコトハ出來ナイノデスカ

○政府委員(道家齊君) 今鵜澤君ノ御尋デスカ、具體的ニ施行規則デドウ云フ場合ニハドウト云フコトヲスツカリ極メルト云フコトハ出來マセヌ

○鵜澤總明君 スツカリデハナク稍マデス

○委員長(板東勘五郎君) ツレハ第二十二條ニ移リマス

○鵜澤總明君 漁業ノ免許ヲ受ケタル日ヨリトアルノハ免許狀ヲ交付シタ日デスカ、處分ヲシタ日カラデスカ

○政府委員(道家齊君) 處分ヲシタ日デス、ツレハ免許狀ヲ其日ト同ジコトニシテ居マス

○鵜澤總明君 所ガ漁業訴訟願ノトキハ免許狀交付ノ時カラデスカ

○政府委員(道家齊君) 何條デス

○鵜澤總明君 五十五條、五十六條ノ場合ハ處分書ヲ交付セラレタル時カラ勘定スルノデアリデスカ、此期間ハ

○政府委員(道家齊君) 彼ハ到達主義ヲ執ッテ居ラウト思ヒマス

○鵜澤總明君 免許狀ニハ其日ヲ書イテモ、行政裁判法ノ規定ニ依テ告知又ハ送達ノ日ヨリ期間ヲ計算シテ差支ナイノデスカ

○政府委員(道家齊君) サウス

○花井卓藏君 二十二條ノ文字ノコトニ付テ疑ヲ質スノデスカ「漁業ノ免許ヲ受ケタル日ヨリ一年間其ノ漁業ニ從事スル者ナキトキハ行政官廳ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得」ト書イデアリマスガ、私ハ是ハ正シイ書方デナイト思フノデスカ、私ノ書方ニスレバ「漁業ノ免許ヲ受ケタル者一年間其ノ漁業ニ從事セザルトキハ行政官廳ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得」トスル方ガ正シイと思ヒマスガ、イケマスマイカ

○政府委員(道家齊君) 自分カスル場合ト貸付スル場合ガアリマス

○花井卓藏君 貸ス貸サヌト云フコトハ見ナクテモ宜イ

○東武君 此二十二條ノ「免許ヲ受ケタル日ヨリ一年間其ノ漁業ニ從事スル者ナキトキ又ハ引續キ二年間休業シタルトキハ行政官廳ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得」トアル、是ハ漁業ノ免許ヲ受ケタル場合ニ漁業ノ免許ヲ受ケテ居ツタガ、一年間漁業シナカッタキトカ又ハ二年間休業シタル時ニハ其免許ヲ取消スコトガ出來ルト斯ウ云フノデスカ、サウスルト是モヤハリ法律論ノ原則先日來ノ問題ト同ジデアルガ、漁業權ト云フモノノ物權ト看做シテ茲ニ權利ヲ與ヘルト云フコトニナツタ以上ハ、一年間漁業ニ從事シナイ時ハ宜イガ、一年間休業シタル者ハ免許ヲ取消スコトニナルト、物權主義ト云フモノニ付テ聊カ疑ヲ存セザラ得ヌ傾ガアラウト思ヒマス、ツレ故ニ是ハ少ナクトモ五箇年トカ五箇年以上トカ云フコトニ修正シタイト云フ希望ヲ有シテ居リマスガ、是ハ事實問題デスカ、斯ウ云フ場合ハ西海岸ト云フ方ニハ無イデアリマセウガ、私等ノ地方東海岸ニハ隨分アリマス、

鰯ノ漁業ノ如キハ二年モ三年モ鰯ガ來ナイヤウナ場合ガアル、其場合ニハ已ム得ズ漁業ニ從事シナイコトガアル、又アノ鰯ト云フヤツノ群來ハ往々魚道ノ關係ヤ其他ノ關係カラ、時ニ依ルト一年モ二年モ不漁ノ時ガアッテ、又漁業ノ盛ニ出來ルヤウナコトモアル、

ソレハ二箇年休業シタカラト云フテ直ぐ取上ケラレト云フコトハ、殆ど物權主義ト云フモノガ根本思想ニ於テ餘リ薄弱ナルト思ヒマス。此點ニ向テ漁業者ノ權利ヲ尊重スルヤウニ修正スルコトハ政府ニ於テハサマデ不同意ハナイデセウカ、又ハ絶對ニ此法文ヲ維持シナケレバナラヌト云フ御意見デゴザイマスカ、ソレヲ伺ヒマス。

○政府委員(道家齊君) ソレハ物權ト云フ主義カラ言ヒマス。如何ニモ行政官廳ガ容易ク取消スコトガ出來テ保障ガ薄弱ノヤウデアリマス。此立方ハドウ云フモノカト云フト一ノ權利ヲ與ヘラレテ其處ヲ獨占スルヤウナ譯ニナリマス。成ルベク此海ノ利用ノ出來ルダケハ利用サセルト云フ方ニ考テ有テ居ル、ソレデアルカ唯無暗ニ權利ヲ有テ居テ休業シテ居テ、何時マデモ抛テ置クト云フコトニナルト、其海ノ利用スルコトガ十分ニ出來ナクナル、ソレガ若シ今ノヤウナ場合デアリマシタナラバ行政官廳ノ認可ヲ得テ置ケバソレハ構ハナイノデス、二年デモ三年デモ五年デモ極端ニ言ヘバ十年デモ出來マス、ソレデスカ其手續ノ煩ヒハアルカ知レマセヌガ、唯一面ニ權利ヲ得タカラト云フテ其權利ヲ廢カシテ置クト云フコトハ如何ニモ弊ガアラウト思ヒマス、夫故ニサウ云フ場合ニハ行政官廳ノ許可ヲ得、ソレハ構ハナイト云フコトヲ次ノ二十三條決定メテ置クノデス。

○東武君 是ハ事實ニナイコトデアルカ知レマセヌガ、私ハ漁業ノコトハ詳シク知リマセヌガ、營業者ノ意見ヲ聞イテ見マス。漁場ヲ幾ツモ有テ居ル場合ニ二ツノ漁場ノ間ニ一ツ立テレバ澤山ダト云フ場合ニ、一ツ立テ置イテサウシテ此方ハ期間ガアルト云フノデ、其期間ヲ繼續スルタメニ一ノ漁場ガ漁場ヲ他ノ漁場ヘ持ッテ行ッテ、此處デ漁場ト云フ權利ヲ維持スルコト云フヤウナ煩雜ナル手續ヲ要スルト云フヤウナ事實ガアル、所ガ此物權主義カラ言フト、モウ少シ權利ヲ延長シテ置カナイト差支ガアルト思フノミナラス、今局長ノ御話ノ如ク利益ノアル場合澤山ノ漁ガアルト云フ場合ハ決シテ休業スルコト云フコトハ事實絶對ニナイト云フテ宜イ、利益ノアルモノナラバ必ズソレダケノ仕事ニ從事スルコトハ競フテアルノデアルカラ、若シ行政官廳ノ認可ヲ得レバ差支ナイヤウナモノ、多數ノ漁民ナドハソナコトヲ知ラズニ、其手續ヲ怠ッタ場合ニハ直グ免許ヲ取消スト云フヤウナコトノナイト云フコトハ斷言ガ出來ナイカラ、此條文ヲ見ルト如何ニモ自殺的デアル、ソレハ全體ガサウデアルガ、特ニ是ハ物權ニシテ長イ間ノ權利ヲ有ツコトガ出來ヌ、僅カニ二年間休業シタ場合ニハ直グソレハ權利ヲ取消ストシタナラバ、所謂金融ノ擔保ニ供スルヤウナ場合デモ斯ウ云フ條文ガ頻々アルト、不確實ダカラ金融スル者ガカナカ信用ヲ置カヌト云フコトニナツテ、漁業ノ發達進步ノ上ニ於テモ面白クナイカラ、是ハモウ少シ確保ノ途ヲ立テタイト思ヒマスガ、サウ云フヤウニ修正シテモ政府ハ不同意デアリマセヌカ、又ハ絶對ニ不同意デスカ。

○政府委員(道家齊君) 御答致シマス。是ハドウモ捕レナイ場所ヲ休業シテ居ルト云フコトハ仕方アリマセヌガ、隨分捕レル場所デモ自分ノ都合デソレヲ利用シナイト云フヤウナコトガ往々アル、獨占シテ居テ他ヘ賣ラウト云フヤウナ者ガアルノデス。

○花井卓藏君 此二十一條デスナ、二十一條ハ此物權ト看做ス。漁業權ヲ授ケル源ヲナスモノデアツテ、行政處分ニ屬スルモノデアル、是ハ疑ハ容レナイシテ、其行政處分ニ依ッテ初メテ漁業權ト云フモノヲ獲得シテ漁業權ニナルト云フ規定ガ本法ニ漏レテ居

ルガ、ソレハ唯觀察シテサウ讀メルトシテ置イテ、ソコデ二十二條ノ規定ニナルト、最早漁業權者トシテアルノデスナ、是ハ所謂看做サレタル物權ヲ取得シテ居ル者ニ對スル規定ナノデスナ、ソレデアルカラシテ行政官廳ガ免許ヲ取消スコトガ出來ルノデアルガ、是ハ行政處分ノ文字ヲ用井ズシテ行政法ノ支配ニ屬スル文字ヲ用井ズシテ、物權ノ支配ニ屬スル文字ヲ用井ル方ガ穩當デアアルマイカ、ソレデハ如何ナル文字ヲ用井タラ宜イカト云フト、此場ニハ行政官廳ハ權利ノ——漁業權ナル權利ノ拋棄ヲナシタルモノト看做スト云フヤウナ主旨ニ書直シタ方ガ筋ガ立チハシマイカト云フ疑ヲ私ハ今起シタルノデスガ、如何デスカ、ヤハリ本條ノ如キ規定ニナルト物權ト看做シテハ居ルケレドモ、授ケタル折ト同ジヤウナ行政處分ガ漁業ニ從事セザル場合ニアツテモ、休業シタル場合ニ於テモ働イテ居ルヤウニ見エテ行政權ト物權トノ區別ヲ紊亂スルヤウニ此法文ノ書方ガナツテ居リハシナイカト云フ疑ヲ今起シタルノデス、是ハ文字ノ書方デ大變ニ違フヤウニ思ヒマス。

○政府委員(道家齊君) ソレハ餘リ強テ主張ヲ致シマセヌガ、併ナガラ此處ニ唯拋棄シタモノト看做スト云フコトハ或ハソレハ宜イカモ知レマセヌガ、ソレハ取消スト云フコトニシマスレバ「アクト」ヲシテ漁業者ニ知ラシメルト云フ方法ハ必要デアラウ看做シテシマッタ實際消エテ居ルカ、消エテ居ラヌカト云フコトデ——詰リ書方デスガ……

○花井卓藏君 私人主張ハ二十二條ヲ得タル漁業權ヲ物權ト見ル本法ノ精神ニ基イテ書改メタイ、換言スレバ行政處分トシテ此權利ガ消エルトデナクシテ、物權トシテ此權利ガ消エルトデアルト云フ趣旨ニ書改メタイト云フ意味ダケヲ、此處ニ書入レテ貫ヘバ宜イノデス、字ハ練ラナケレバナリマセヌ。

○政府委員(法學博士平沼一郎君) チョット唯今ノ點ニ付テ申上ゲテ置キタイノデスガ、成程花井君ノ御論ノ私權即チ物權ニナルノデアルカラ、其以後ノ分ハ成ルベク私法上ノ規定ニアル文字ヲ用井タイト云フ御論デアルノデ、至極御尤ナコトデゴザイマスガ、併シ此場合ニ於テハ如何カト思ヒマス、詰リ書方ハイロ／＼アリマセウガ、花井君ノ御論ノヤウニシマスレバ權利ノ拋棄ヲ推定スルコト云フ意味ノ文字ヨリ書方ハナカラウト思ヒマス、併シ此法律規定トシテ推定ノ文字ト云フモノハ成ルベク避ケタイノデアリマス、殊ニ此場合ノ如キハ權利ノ拋棄ヲ推定スルコト致シマシテモ事實ニ違フ場合ガ多カラウト思ヒマス、一年間休業ニ從事セヌ、一年間休業シタ、ソレデ直ニ本人ノ意思ハ權利ヲ拋棄スルモノト推定スルノハチツト無理デハナカラウカ、是ハ法律ノ力デ此ノ如ク定メルコトハ差支ナイト致シマシタルコトガ、兎ニ角私ハ行政權ノ保障ニ依ッテ生ジテ居ル權利デアリマスカ、之ヲ明確ニスルニハヤハリ消滅等ニ付キマシテモ、ヤハリ行政權ノ發動極メル方ガ宜カラウト思ヒマス、推定ト云フコトニナリマス。或ハ反證ヲ許サヌ推定ニナルカ、反證ヲ許ス推定ニナルカ分リマセヌガ、普通ノ推定ナラバ反證ヲ許スコトニシナケレバ民法ノ原則ニ合ハナイノデスカ、サウ云フコトニナリマシタナラ種トナリテ、縱シ反證ヲ許サヌ推定ト云フコトニ致シテモ、行政權ニ依ッテ免許ヲ取消スト云フ劃然タル分界ノ立チマス方ガ、此ノ如キ權利ニ付テハ公益ノ上カラ考ヘマシテモ宜カラウト思ハレマス、現行ニ於テモ法律命令ノ私權ト云フモノハ無論ナイノデスカ、此規定ヲ置キマシタルコトガ強チ私權タルノ性質物權タルノ性質ト抵觸スル程ノ嫌ヒハナカラウト思ヒマス、其意見ヲ申述ベテ置キマス。

○花井卓藏君 今平沼君ノ御論モ一應御尤ノヤウニ聞エマスガ、漁業權ト云フモノヲ私權ト看做スコトニ本法ノ精神ヲ定メテ規定ラシテ居ルノデアッテ、サウシテ成ルベク其働ト云フモノヲ民法ノ下ニ讓リタイト云フコトハ、昨日ノ會議デモ定テ居タルデアリマス、本條ハ實質ノ關係ニ於テハ平沼君ノ言ハル、トコロ見ルトコロト私ノ見ルトコロトハ少シモ異ナルノデハナイ、唯一旦私權の漁業權ヲ認メテ來タ以上ハ其消滅ト云フヤウナコトニ至リテモ、ヤハリ私權のニ之ヲ見テ往クノガ至當デアラウ、法文ガ正シクナルデアラウ、サウシテ漁業權ガ一層私權ノ性質ヲ帶ビテ居ルト云フコトヲ明カニスル實益ガアルデアラウ、而シテ更ニ先キノ方ニ進シテ參リマシテ救済上ノ、此裁判管轄ヲ定ムル上ニモ極メテ必要デアラウト云フコトヲ感シマシタガ故ニ、今ノ論ヲ出シタノデアリマス、此實益ハ爭ヲ決スル上ニ於テ非常ナル利益ガアルノデアリマス、二十二條ガ行政官廳ノ行政處分ト云フ事柄ナレバ行政裁判所ニ往クニ違ヒナイ、之ヲ私ガ今立テヤウナ案ノ如クニ致シマシタナラ、漁業權ナル私權ノ得喪ニ關スル爭デアルカラ、國ヲ相手取ツテヤハリ民事裁判所ニ往クノガ當然デアラウト思ヒマス、漁業法ニ於テ看做サレタル物權、サウシテ其權利ノ得喪ニ關スルトコロノ行爲ヲ——處分ニアラズシテ行爲ヲ農商務大臣ガナシ、農商務大臣ハ民法上ノ私權ノ侵害シタモノデアルト云フノデ爭ヲ起シタ折ニハ、無論民事裁判所ニ往クデアラウト思フ、此處デ利害得失ヲ言フノハ甚ダ如何デアルカ存ジマセヌケレドモ、事實デアルカラ申上ゲマスガ行政裁判所ニ參ルト云フコトハ、民事裁判所ニ往クト云フコトハ、權利ノ爭ヒニ於テ國民ハ孰レニ安心スルカト云フコトハ、是ハ問題ニナラヌコトデアリマス、私ハ此ノ如クニシテ行政裁判所ノ支配ヲ離レテ民事裁判所ノ支配ニ屬スルヤウニナリマシタナラバ、漁業權ノ裁判上ニ於テ尠ナカラザル實益アリト思フノデアリマス、夫故ニ申上ゲマシタ以前ニ此一例ヲ擧ゲテ二十二條ヲ行政處分ニアラズシテ、私權規定シテ改メタイト云フ說ヲドモ維持シタイト思ヒマス

○鵜澤總明君 私モ此點ニ付キマシテハ花井君ニ同意シタイト思ヒマス、詰リ此二十二條ハ二十五條ト關聯シテ多少疑ガ起ツテ來ルコトモアリマスルシ、ウレカラ二十二條ノ規定ガアルト少クトモ二年間經ツマデハ行政處分ニ依ツテ與ヘラレテ居ル漁業權ガ不確定ナル權利デアルト云フ、斯ウ云フ疑ヲ起シテ來ルデアラウト思ヒマス、折角行政處分ニ依リマシテ物權タル漁業權ヲ認ムル、斯ウ云フコトニナル以上ハ、一度漁業權トナツタモノヲ成ルカラ怪シクナイ權利ニシタイ、其意味カラ言ヘバヤハリ民法上ノ規定ニ據ルト云フコトノ方ガ安心デアアルマイカト思ヒマス、其趣旨ハ平沼君ノト少シモ違ハヌノデス

○政府委員(道家齊君) チョット申上ゲマスガ、御趣旨ハ能ク分リマシテ、大體趣旨ハ一致シテ居リマセウガ其結果ト云フモノハ非常ナ差違ヲ生ジヤウト思ヒマス、現在デモ斯様ナモノニ類似ノ規定ガアリマシテ、サウシテ其書方ニシテ居ルノデアリマス、現行法ガ既ニ斯様ニナツテ居テ、改正法ト云フモノデ何モ改メタモノデハナイガ、其結果ハドウカト云フ、即チ救済方法トシテハ行政裁判所ニ現ニ持ツテ往ツテ居ルノデス、ソレデ成程物權ト見タ結果カラ致シマシテ總テソレヲ司法裁判所ヘ持ツテ往クト云フコトハ、一應御尤ノ御考ト思ヒマスガ、併ナカラ漁業權ナルモノ、一體成立カラ申シマス、實際ドウモ司法裁判所ヘ持ツテ往クト事實ガ分ラヌ困ルト云フヤウナコトガ多イノデアリマス、夫故ニ此現行法ニ於キマシテモ此行政裁判所ト云フモノニ之ヲ持ツテ

往クトニナツテ居ル、ソレハ何カト言ヒマスヤハリ漁業權ナルモノハ一種特別ナルモノデアッテ、理論上カラ推シテ見マスレバイロノ、筋道ニ合ハナイト云フヤウナ議論ノ生ジ易イモノデアラウト思フノハ、是ハ事實デアアル併ナガラ又一面ニ法ヲ設ケルニ於キマシテハ、成ルベク法律トシテハ實際ニ適合スルモノヲ拵ヘルト云フコトガ、是亦必要ナ點デナイカト思フ、唯理論タケデヤルト云フコトハドウカト思ヒマス

○政府委員(法學博士平沼一郎君) 唯今ノ點ハ餘程重要ナ點ダト考ヘマスカラ今一應辯ジテ置キタイ、二十二條ノ趣旨ハ一體意思ノ推定カラ來テ居ルノカ、或ハ公益上ノ理由カラ來テ居ルカト云フコトハ問題ノ岐レルトコロト思フ、是ハ意思ノ推定カラ立案シタ法文デナイノデアリマス、ソレモ一年モ免許ヲ受ケテカラ漁業シナイ、二年間モ打ッチャツテ置ク、是ハ先刻水產局長カラ辯明ニナリマシタ通り公益上カラ宜クナイ、ソレハイロノナ事ハアリマス、ソレハ詳シクハ申シマセヌガ、其事ハ既ニ明瞭デアラウト思フ、既ニ公益基本トシテ免許ヲ取消スト云フコトニナリマスルト、意思ノ推定ト云フコトハ全ク沒交渉デアアル、若シ是ガ意思ノ推定カラ來テ居ルモノデアリマスレバ、單純司法上ノ規定ニ讓リマシテ一向差支ナイ、又是ハ理論ニモ合スルデアラウト思ヒマス、縱令私權デアリマシテモ此公益ノ理由カラシテ、ドウシテモ存續ヲ許サヌノガ至當デアル、斯ウ云フ理由デアアルノデアリマスカラシテ行政處分ヲ以テ公益上ノ理由ニ依ツテ、私權ニ制限ヲ加ヘルコトハ理論カラ申シマシテモ一向不都合ガナイト考ヘル、ツマリ二十二條ノ法文ノ趣旨ハ其處ニアルノデアリマスカラ此點ハ十分御了解ヲ願ヒタイ

○花井卓藏君 若シ二十二條ヲ以テ公益規定ノ私權ヲ侵ス例外ヲ定メタル法文ナリトセバ、第二十四條ニ規定ラスルノガ當然デアラウト思フ

○鵜澤總明君 唯今ノ平沼政府委員ノ御議論ハ御尤デアリマス、私ノ意見トシテハ此法律ノ唯今マデノ趣旨ニ依レバ二十二條ハ本來不必要デアアル、斯様ナ規定ヲ設ケルト云フコトハ行政權ノ性質上、唯今マデ確定シタ事實ニ依ツテ甚ダ矛盾ノ至リデアアル、斯ウ思フノデアリマス、所ガ或ル場合ニ於テハ權利ヲ實行スル方ノ人ニ於テ一年間ナリ、或ハ二年間ナリ休業若クハ漁業ニ從事シナイタメニ他人ノ權利ヲ害スルコトモアラウシ、又公益ヲ害スルコトモアラウ、サウ云フ場合ニ於テサウ云フ權利ノ上ニ眠ツテ居ル人ハ、ソレガ惡意デアアルカ善意デアアルカ分リマセヌケレドモ、左様ナ者カラハ權利ヲ奪フト云フコトハ一向差支ナイコトデアアル、ソレデアリマスカラ其場合ニ於テハヤハリ私權ノ行使ヲ怠ルモノト行政ノ法律ノ上ニ看做シテ、サウシテ法規ヲ推定ナリ、或ハ法規ヲ看做スト云フヤウナ事柄ニスルコトハ決シテ取締ノ上ニ於テ差支ナイ、サウシテ權利ヲ確實ニスルト云フ方面カラ申シマスルト、却テ其事柄ノ方ガ宜クハナカラウカ、斯ウ思フノデアリマス、ヤハリ御一考ヲ願ヒタイト思フ

○漢寄鉄五郎君 私ハ當局者ニ聞イテ見タイト思フ、此二十二條ハ法律學者ノ御説ハ全ク是ガ要ナナイ、詰リ成ルベク物權ニ近ケタイト云フ意味ニ於テ此免許ヲ取消スト云フコトハ必要ガナイト云フ御話ガアリマスルケレドモ、實際ハ私ハサウデナカラウ思フ、ト云フモノハ各縣ニ於テ漁業ノ中ニハ漁場保護區域ヲ極メテ居ル、所ガ保護區域ハ縣々ノ隨意ニ依ツテ或ハ間數ヲ延バシ間數ヲ縮メルコトガアツテ、保護區域ノ間數ヲ延バシタリ縮メル、ドウ云フ譯カト云ヘバ其間ニ於テ所謂二浦君ノ言ツタヤウニ徒ニ

漁業權ヲ置イテ、サウシテ御客ノ來ルコトヲ待ツト云フコトガ、北海道ノ立網ナドニハアリマセヌケレドモ内地ノ臺網ニ澤山アル、ソレハドウ云フカト云フト例ヘバ甲ノ縣ガ保護區域ハ千間アル、乙ノ縣ガ五百間ノコロガアル、甲ノ縣ガ又五百間ニ縮メテ無理ヤリニ澤山臺網ヲ立網ヲ入レル、サウシテ客ノ來ルヲ待ツテ居ル、然ルニドウモ行ツテ見テ間ガ狹イカラ面白クナイト言ツテ買人ガナイ、此ノ如ク一方ニ保護區域ヲ縮メタタメニ到ル所保護區域ノ爭ガ起ツテ來ル、ソレダカラ是ハ所謂法律ノ趣意カラ云ヒマスルト今ノ花井君鵜澤君ノ言ツタコトハ御尤ダラウト思フ、ケレドモ所謂取締ト云フ上ニ於テハ公益ノ害ト云フコトハ付ケラレス、ト云フモノハ兎ニ角縣々ノ隨意テ保護區域ヲ縮メテ居ルカラ其保護區域ニ當嵌ツテ居レバ、公益ニ害ガアルト云フコトモ言ヘナイ、而シテ出漁ガドウカト云フトヤル人ノナイタメニ困難スルコトガアルカラ、寧ロサウ云フモノヲ取締ルニハ漁場ヲ持ツテ居ツテ休業スレバ、行政官廳ハ直グ取消スト云フ意味ガ非常ニ漁場取締ノ上ニ必要ガアル、詰リ物權ニ成ルダケ近付ケタイト云フ法律ノ趣意カラ云ツテ見レバ或ハ不穩當ナ條項カ知リマセヌケレドモ、一方ニ於テ出漁ヲ取締ル上ニ於テ此方ガ確カデアラウト思フ

○委員長(板東勘五郎君) ソレデハ今日ハ是デ止メマシテ、明日午後一時ヨリ開會致シマス

午後零時四十一分散會